



全校保護者会で今年のお礼と新年度構想を

校長 伴 光明

早いものです。今年度の授業も残すところ3週間。各学部で卒業を迎える皆さんは特に感慨深いものがあることでしょう。一日一日を大切にしよう、と改めて思う時期です。



さて、週明けの4日は、**全校保護者会**を予定しています。たくさんのご回答をいただいた**学校評価アンケートの結果**をお知らせし、今年度のあきる野学園を振り返ってまいります。

また、**新年度の主な行事の日程**などもお知らせします。年間の予定の中でご計画に入れていただきたいと思います。

新年度は、「分かって楽しいあきる野学園」というテーマを掲げます。保護者会で見ていただくスライドでは、左図の**チョコレートのようなタイルを一つずつ開いて**、「分かってその①②③④」で考えていることをご紹介します。ぜひ、ご出席いただいて、その場で見て聞いていただきたいものと願っています。

なお、PTAではこの日に**能登半島地震への義援金**を募ると聞いています。私も改めて募金させていただきます。

ご承知
ください

※東京都教育委員会は4月1日付教員人事異動について年度内に公表することとして
います(昨年度から行われるようになりました)。今年度であきる野学園を去る教員に
ついては、公表時期に合わせて学校からお知らせをいたします。

お待たせしました 新校舎完成!

副校長 平野 信治

先週2月14日・15日はB部門高等部のバスケットボール大会、2月17日はA部門ハンドサッカー大会で、あきる野学園の児童・生徒の大きな活躍が見られた一週間でした。いずれの大会会場にもあきる野学園の応援旗が飾られ、子供たちの活躍の原動力になっていました。改めまして制作いただきましたPTAの皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。



さて、これまで新校舎の増築工事中は、保護者の皆様には様々な面でご協力をいただけてきましたが、増築した校舎部分については工事が完了し、学校への引き渡しが終わりました。令和6年度から子供たちの使用開始に向けて、少しずつ環境整備の方を進めています。新アクセス通路は4月から利用再開の予定です。



新校舎棟は「G棟」と呼びます



「G棟」の普通教室



新アクセス通路

【G棟見学会のお知らせ】

3/4(月)に保護者の皆様を対象にG棟の見学会を実施します。4月以降G棟使用はB部門の高等部が中心となりますが、見学会はどなたでも参加できます。希望される方は学部保護者会終了後、その場にお残りください。担当がご案内いたします。

あきる野学園の校内研修

研修推進部

「分かって楽しい★あきる野学園」に向かうための、はじめの一步

児童・生徒の皆さんは、授業が分かると「楽しい」気持ちになり、次の授業が待ち遠しくてならなくなります。

「楽しく」て「分かる」教科学習の実現に向けて、本校教職員は研修活動を重ねています。

実はこの「分かって楽しい★あきる野学園」という言葉は、伴光明校長が学校経営で掲げる理念でもあるのです。一見すると軽妙で、ワクワクするような、そんな響きのある言葉です。しかし、この言葉は、険しく高い山の頂であると、筆者は考えます。頂に達するためには、山を登るための道具や衣類、水や食料といった準備が必要になります。続いて、一步一步、足元を確かめながら登っていくことになります。時には疲れて立ち止まり、それでも山頂を目指して、登っていきます。そして頂に立ったとき、雲海の下に白く輝く海や、緑の大地を見渡すことができ、言葉にできない感動が溢れてくる――。

私たち本校教職員にとっては、「分かって楽しい★あきる野学園」という言葉が、研修の頂なのです。

本校では、一人一人の教職員の指導力を高め、日々の教育活動をより充実させることを目的に、校内研修を行っています。研修の講師は、筑波大学教授の川間健之介先生です。川間先生には、毎年、年度内で20を超える授業を参観していただき、ご指導・ご助言をいただいています。

令和5年度の全校の研修テーマは、「『生活科』『社会科』『理科』のさらなる充実に向けて」というものでした。

学習指導要領に基づき、小学部ではAB両部門ともに「生活科」について前・後期で研究授業を実施し、研修を重ねました。中学部及び高等部では両部門ともに「社会科」「理科」について研究授業を前・後期で実施して研修を進めました。

さらに本校全教職員が参加する「全校研修会」は、例年と同様に、8月下旬に夏季（前期）全校研修会を、2月初旬に後期全校研修会を開催し、各学部における研修の成果と課題について発表し、先述の川間健之介先生からの指導と助言をいただきました。とりわけ2月の後期全校研修会が果たす役割や意義は大きく、夏季全校研修会で浮き彫りになった課題に対し、解決に向けてどんな工夫をし、努力を重ねたのかを学部ごとに発表し、確認し合う機会となっています。

具体的な課題としては、①学習指導要領の理解と適切な単元指導計画（活動重視による【ねらい】のズレ、時数不足、小中高の学習の連続性）、②障害理解、自立活動の視点、③板書計画、④教職員同士の連携、組織的な授業改善、といった点を後期全校研修会で再認識することになりました。

こうした課題を踏まえ、次年度の研修活動へと歩を進めることとなります。

研修に際しては、校長や副校長の指導や助言を得ながら、学部教員は、Research（実態把握）→Plan（計画）→Do（研究授業）→Check（検証）→Action（改善）といったサイクルで、「楽しく」て「分かる」教科学習の実現に向けて努力、研鑽を積み重ねていきます。

研修推進部では、「分かって楽しい★あきる野学園」という、山頂を目指して登ってきたつもりです。しかし実際は、裾野を歩き始めたばかりであると受け止めています。一気に山を登頂することは難しいかも知れませんが、登ろうと努力すること、頂を見つめていくことが、児童・生徒の皆さんの、授業中の瞳の輝きにつながっていくものと考えます。

